

端末管理

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る [スキャン機能]	142
プログラムをインストールする	146
メモリの使用量を確認する..... [メモリ]	147
ボタンの操作を調整する..... [ボタン]	147
バージョン情報や端末情報を確認する [バージョン情報]	148
カスタマーフィードバックについて	148
エラー報告について	148
FOMA端末をリセット（再起動）する.....	148
登録データを一括して削除する..... [マスタークリア]	149

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

[スキャン機能]

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやメールなど外部からFOMA端末に取り込んだファイルを検知して、障害を引き起こす可能性を含むファイルの削除や通知を行います。

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください。
- 起動中のアプリケーションはスキャンできないため必ず終了してください。終了しない場合は正しくスキャンできません。アプリケーションの終了方法は、それぞれのアプリケーション作成者にお問い合わせください。
- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。なお、自動更新設定が「有効」の場合、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます (P.145)。
- パケット通信接続中はパターンデータを更新できません。ブラウザを使用したりメールを送受信した直後は、それぞれのアプリケーションを終了しても、パケット通信回線に接続されたままになっています。「パケット通信回線を切断する」(P.82、P.97)を参照して、パケット通信回線を切断してください。
- 各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

手動で全ファイルをスキャンする

[スキャン]

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください (P.145)。
- スキャンを実施する前に、すべてのアプリケーションを手動で終了してください (P.36)。

1 「スタート」→「SecurityScan」

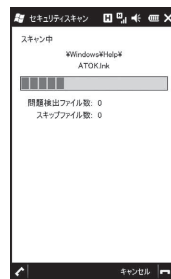
- 「パターンデータ更新を起動してください」という画面が表示された場合は、「ok」をタップして、パターンデータを更新してください (P.145)。

2 「スキャン」→「OK」

- microSDカードやUSBメモリ機器などの外部メディアをFOMA端末に取り付けている場合は、「スキャン」→スキャン範囲を選択→「OK」→「OK」をタップします。



セキュリティスキャン画面



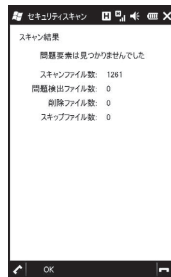
スキャン中画面

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

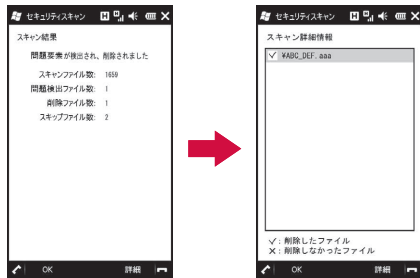
検出された問題要素によって、表示されるメッセージと操作が異なります。

■「問題要素は見つかりませんでした」が表示されたとき
「OK」をタップして画面を閉じてください。

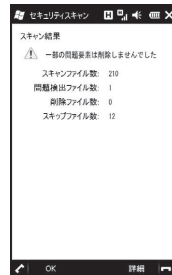


■「問題要素が検出され、削除されました」が表示されたとき
「OK」をタップして画面を閉じてください。

●「詳細」をタップすると削除されたファイルを確認できます。



■「一部の問題要素は削除しませんでした」が表示されたとき
「詳細」をタップして削除しなかったファイルを確認してください。
削除しなかったファイルは障害を引き起こす可能性があるため手動で削除することをおすすめします。



スキャン機能を設定する

【スキャン機能設定】

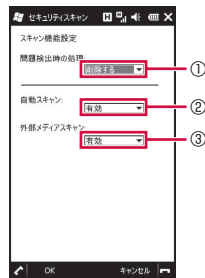
WM6.5
初期設定内容

問題検出時の処理：削除する
自動スキャン：有効
外部メディアスキャン：有効

問題検出時の動作やスキャン機能の有効/無効を設定します。

1 「スタート」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「スキャン機能設定」



- ① 問題を検出した場合、データを自動的に削除するが設定します。
- ② ファイル更新時に自動的にスキャンするか設定します。
- ③ microSDカードやUSBメモリ機器など、外部メディアをスキャン対象とするか設定します。

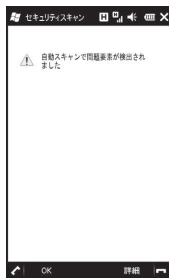
3 「OK」をタップする

自動的にファイルをスキャンする

【自動スキャン】

自動スキャンが「有効」に設定されていると、変更やコピーが行われたファイルに対して自動的にスキャンを行います。問題要素が検出されると通知画面が表示されます。

- 終了するには「OK」をタップします。
- 「詳細」をタップするとスキャン結果が表示されます。



自動スキャン結果の表示について

【自動スキャン結果】

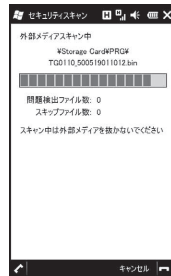
自動スキャンの結果を確認します。

- 1 「スタート」→「SecurityScan」
- 2 「メニュー」→「自動スキャン結果」
自動スキャンの詳細情報が表示されます。
- 3 「OK」をタップする

自動的に外部メディアのファイルをスキャンする

【外部メディアスキャン】

外部メディアスキャンが「有効」に設定されていると、microSDカードやUSBメモリ機器などの外部メディアをFOMA端末に取り付けたとき、外部メディアの全ファイルに対して自動的にスキャンを行います。



指定した時刻に全ファイルをスキャンする

【スキャン予約】

WM6.5

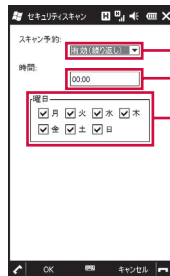
初期設定内容

スキャン予約：有効（繰り返し）

時間：00：00

曜日：月・火・水・木・金・土・日にチェック

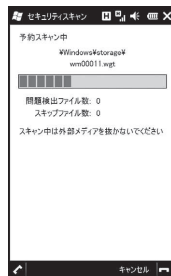
- 1 「スタート」→「SecurityScan」
- 2 「メニュー」→「スキャン予約」



- ① スキャン予約の設定を行います。
- ② スキャンを実施する時間を設定します。
- ③ スキャンを実施する曜日を設定します。

3 「OK」をタップする

スキャン予約が「有効（繰り返し）」に設定されていると、指定した時刻に外部メディアを含むFOMA端末内の全ファイルに対してスキャンを行います。



1 「スタート」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「自動更新設定」→「有効」→「はい」→「はい」



パターンデータを更新する

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

- 最新のパターンファイルをダウンロード（通信料無料）してからスキャンを行ってください。

1 「スタート」→「SecurityScan」

- 「パターンデータ更新を起動してください」という画面が表示された場合は、「ok」をタップしてください。

2 「更新」→「はい」→「はい」

- パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

自動でパターンデータを更新する

【自動更新設定】

パターンデータの自動更新を「有効」に設定すると、新たな問題が発見された場合、自動的にFOMA端末内のパターンデータを更新するよう設定できます。

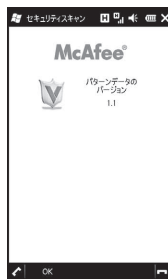
おしらせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 以下の場合にはパターンデータを更新できません。
 - FOMAカードが未挿入
 - FOMAカード不正
 - デバイスロック中
 - PINロック中
 - PINロック解除コードロック中
 - パソコンとの同期中
 - インターネット接続中
 - 電子メール受信中
 - パケット通信中
 - 圏外にいる場合
 - ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの場合
 - 時計を設定していない場合
 - 外部機器接続中
 - 海外で利用している場合
 - ほかのアプリケーションを起動中
- パターンデータの自動更新に失敗した場合、が表示されますので、パターンデータの更新をしてください（P.145）。

パターンデータのバージョンを確認する

[バージョン表示]

- 1 「スタート」→「SecurityScan」
- 2 「メニュー」→「バージョン表示」



- 3 「OK」をタップする

プログラムをインストールする

パソコンでインターネットに接続してダウンロードしたプログラムを、ActiveSyncを使ってFOMA端末にインストールすることができます。

また、Marketplaceからプログラムをインストールすることもできます。詳しくはP.135を参照してください。

詳しいインストール方法については、各プログラムの提供者の説明にしたがってください。

- プログラムのインストールは、安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったプログラムなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったプログラムなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- プログラムによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。

おしらせ

- マスタークリア (P.149) を行うと、お買い上げ後にインストールしたプログラムはFOMA端末から削除されます。必要なプログラムは、microSDカードなどに保存されることをおすすめします。

プログラムを削除する

- 1 「スタート」→「設定」→「システム」→「プログラムの削除」
削除可能なプログラムの一覧が表示されます。
- 2 削除したいプログラムを選択→「削除」→「はい」

メモリの使用量を確認する

[メモリ]

FOMA端末およびFOMA端末に取り付けた外部メディア (microSDカードやUSBメモリ機器) のメモリ使用状況を確認できます。

FOMA端末のメモリ空き容量を確認する

FOMA端末のデータ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの使用状況を確認できます。

- FOMA端末の動作が遅くなったり、プログラムの動作が不安定になったりした場合は、実行中のプログラムを終了するなどしてプログラム実行用メモリの空き容量を確保してください。
- データ記憶用メモリの空き容量が極度に低下すると、連絡先などへの登録や、ファイルやフォルダーの操作ができなくなることがあります。不要なファイルを削除してください。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「メモリ」→「メイン」タブ

お知らせ

- メモリ画面下部に表示されている「サイズの大きいファイルを検索できます。」の「検索」をタップして、64Kバイトより大きいファイルを検索できます。

外部メディアのメモリ空き容量を確認する

microSDカードやUSBメモリ機器など、FOMA端末に取り付けた外部メディアのメモリ使用状況を確認できます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「メモリ」→「メモリカード」タブ

2 ▼をタップして、「Storage Card」または「ハード ディスク」を選択する

- microSDカードのメモリ使用状況を確認するには、「Storage Card」を選択します。USBメモリ機器のメモリ使用状況を確認するには、「ハード ディスク」を選択します。

メモリの空き容量を増やす

以下の方法で利用可能なメモリの空き容量を増やすことができます。

- 現在使用していないプログラムを終了する (P.36)
- Internet Explorer Mobileの一時ファイルや履歴を削除する (P.95)
- 不要なファイルを削除する (P.112)
- 使用していないプログラムを削除する (P.146)

ボタンの操作を調整する

[ボタン]

FOMA端末にテンキーやキーボード (市販品) を接続した際、ボタン (キー) を押したときの動作を設定できます。

- すべてのテンキーやキーボード (市販品) の動作を保証するものではありません。

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「ボタン」

2 「移動開始までの待ち時間」/「移動速度」のスライダーを左右になぞって、待ち時間/速度を調整する

3 「OK」をタップする

バージョン情報や端末情報を確認する

【バージョン情報】

本FOMA端末のオペレーティングシステムのバージョンやソフトウェアのバージョン、デバイス名、ワイヤレスLAN用のMACアドレスなどを確認できます。

- 1 「スタート」→「設定」→「システム」→「バージョン情報」
- 2 必要な項目を確認/入力し、「OK」をタップする

「バージョン」タブ	オペレーティングシステム(Windows Mobile® 6.5 Professional) のバージョンなどを確認できます。
「デバイスID」タブ	パソコンとの同期やBluetooth通信で使用されるデバイス名を変更したり説明を入力することができます。
「著作権」タブ	この製品の著作権について確認できます。
「バージョン情報」タブ	ソフトウェアのバージョンや製造者、IMEI (携帯端末に与えられる個別のシリアルナンバー)、ワイヤレスLANへの接続に必要なMACアドレスなどを確認できます。

カスタマーフィードバックについて

ソフトウェアの改善に役立てるため、マイクロソフト社にソフトウェア使用状況に関する匿名情報を提供するかどうかを設定します。

- 1 「スタート」→「設定」→「システム」→「カスタマー フィードバック」
- 2 「フィードバックを送信する(推奨)」または「フィードバックを送信しない」をタップする
- 3 「完了」をタップする

お知らせ

- フィードバック情報は、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンと同期中またはワイヤレスLAN接続中に送信されるため、パケット通信料は発生しません。

エラー報告について


エラー報告を有効にすると、プログラムエラーが発生したとき、マイクロソフト社のテクニカルサポートセンターに匿名でエラー報告を送信することができます。


- 1 「スタート」→「設定」→「システム」→「エラー報告」
- 2 「エラー報告を有効にする(推奨)」または「エラー報告を無効にする」をタップする
- 3 「OK」をタップする

FOMA端末をリセット(再起動)する

データが正常に表示されなかったり、タップやキー操作が正しく働かない場合は、リセット操作を試してみてください。リセットを行うと編集中のデータは失われますが、保存したデータは失われません。

- 1 を押したままにする

電源OFF確認画面が表示されますが、そのままを押し続けます(10秒以上)。

FOMA端末の電源が切れて少したつと、FOMA端末が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯します。お知らせLEDの点灯を確認したら、から指を離してください。FOMA端末が再起動します。

お知らせ

- 外部接続端子キャップを開けてリアカバーを取り外し(P.38)、スタイラスペン(試供品)でRESETボタンを押してリセットすることもできます。
- 電子メール受信後、数分以内にFOMA端末をリセットすると、受信したメールがFOMA端末に保存されないことがあります。その場合は、再度メールを受信してください(P.81)。
- プログラムのインストールや設定変更の直後にFOMA端末をリセットすると、プログラムがインストールされないことや設定変更されないことがあります。その場合は、再度プログラムのインストールや設定変更を行ってください。

登録データを一括して削除する

[マスタークリア]

FOMA端末をWM6.5初期設定内容の状態に戻します。

- この操作を行うと、ご購入後にFOMA端末にお客様がインストールしたプログラムや登録したデータはすべて削除され、設定はWM6.5初期設定内容の状態に戻りますので、メモを取ったりデータをバックアップすることをおすすめします。
- この操作を行うと、microSDカードに保存されている暗号化(P.114)されたファイルは一切読み出すことができなくなりますのでご注意ください。

■マスタークリアで削除されるデータ

- メールに保存されているメッセージ
- メールアカウントの設定
- 連絡先、仕事、予定表、メモの登録内容
- お客様がFOMA端末で撮影し保存した静止画や動画
- お客様がコピー／ダウンロードして保存したファイル
- お客様がインストールしたプログラム
- パソコンとの同期設定
- スキャン機能の更新パターンデータ
- その他、お買い上げ以降に登録・変更されたすべてのデータおよび設定内容

おしらせ

- FOMAカードに登録したりコピーした連絡先やSMSは削除されません。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「マスタークリア」

2 コード入力欄に「1234」を入力し、「リセット」をタップする
マスタークリアが完了して少したつと、FOMA端末が再起動します。

MEMO